

伝統文化シネマ鑑賞会 (上期)

人間国宝の卓越したわざ、各地域に伝承された民俗行事は、時代を超えて私たちに語りかけてきます。優れた無形の伝統文化を記録した映画を、毎月1回、各文化小劇場にて上映しています。

4月27日(水) 守山文化小劇場 13:45 開場 14:00 上映 [定員 400名]

①滋賀 一琵琶湖・長浜一曳山まつり

長浜市に伝わる重要無形文化財。200年余も続く子ども狂言に取り組む町衆たちを描きます。(32分・1985年完成)

②特別企画 手の匠—日本文化をうみだすもの—

漆芸・陶芸、人形浄瑠璃、茶、仏像に焦点を当て、日本文化の中に占める「手」の意義と魅力をうたいあげます。(30分・2005年完成)

[問合せ] 守山文化小劇場 TEL 052 - 796 - 1821



5月18日(水) 北文化小劇場 13:45 開場 14:00 上映 [定員 297名]

①陶芸 藤本能道の色絵磁器—釉描加彩—

65歳を過ぎてから、独自の技法・釉描加彩という上絵の技法を生み出す一人の天才を描きます。(33分・1987年完成)

②埼玉 秩父の夜祭り—山波の音が聞こえる—

夜祭りは、ここで暮らす人々のエネルギーの爆発です。祭りの中に生きる民俗の心を探ります。(34分・1990年完成)

[問合せ] 北文化小劇場 TEL 052 - 910 - 3366



6月29日(水) 港文化小劇場 13:45 開場 14:00 上映 [定員 350名]

①各地 月と大綱引き

沖縄から九州、秋田。韓国の慶尚南道・霊山まで足をのばした「綱引き」行事と日本人の心の記録です。(33分・1990年完成)

②染織 山田貢の友禅—凧—

糸目糊置技法の伝統を頑固に守り、糸目、せき出し、叩きの各糊を巧みに用いる氏の技と心を追います。(34分・1995年完成)

[問合せ] 港文化小劇場 TEL 052 - 654 - 8214



7月7日(木) 南文化小劇場 13:45 開場 14:00 上映 [定員 394名]

①人形 人形作家 秋山信子—心やすらぐ人形を—

桐塑人形の制作工程を通して、作品と心通わせる秋山信子氏の穏やかな表情の作品と人柄を描きます。(38分・2001年完成)

②陶芸 人間国宝 伊勢崎淳 備前焼の心とわざ

常に自然と対峙し、ひたすら土と向き合い対話するように制作する、氏の創意に富んだ卓越したわざが展開されます。(33分・2007年完成)

[問合せ] 南文化小劇場 TEL 052 - 823 - 6511



8月17日(水) 東文化小劇場 13:45 開場 14:00 上映 [定員 349名]

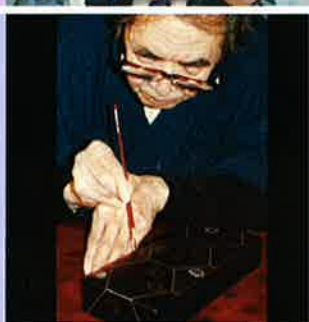
①染織 芹沢銈介の美の世界

型絵染の人間国宝・芹沢銈介氏の美の世界を、技と多様な作品を紹介しながら絵巻き風に語ります。(35分・1984年完成)

②漆芸 変幻自在—田口善国・蒔絵の美—

蜂をテーマにした飾箱の製作過程と、自然を友として小さな生き物と優しく心通わせる氏の姿を描きます。(36分・1993年完成)

[問合せ] 東文化小劇場 TEL 052 - 719 - 0430



9月21日(水) 天白文化小劇場 13:45 開場 14:00 上映 [定員 350名]

①陶芸 備前焼 伊勢崎淳の挑戦—伝統と革新のはざまで—

「伝統は革新の連鎖である」という信念で、独自の造形への挑戦を続けます。(33分・2007年完成)

②福岡 ふるさとからくり風土記—八女福島の人形—

九州の八女福島の人たちは、秋分の日が近づくと3層2階建の屋台を組み人形カラクリ芝居を演じます。(31分・1987年完成)

[問合せ] 天白文化小劇場 TEL 052 - 806 - 8060



日本の伝統文化を未来に—

伝統文化シネマ鑑賞会 10・11・12月

人間国宝の卓越したわざ、各地域に伝承された民俗行事は、時代を超えて私たちに語りかけてきます。
優れた無形の伝統文化を記録した映画を、毎月1回、各文化小劇場にて上映しています。

10月26日(水) 中川文化小劇場 13:45 開場 14:00 上映 [定員446名]



岩手「みちのくの鬼たち—鬼剣舞の里—」

①岩手 「みちのくの鬼たち—鬼剣舞の里—」

岩手県北上川流域に広く分布する鬼剣舞。衣川村の川西念仏剣舞と岩崎地区の鬼剣舞を記録。(36分・1996年完成)

②竹工芸 「竹工芸 飯塚小玗斎」

氏の精緻で高度な技を父、琅玕斎考案の束編みを通して紹介。美術工芸品として磨かれる竹の美を描く。(30分・1986年完成)

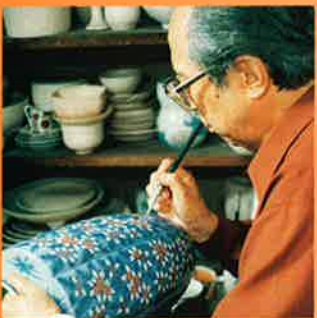
[問合せ] 中川文化小劇場 TEL 052 - 369 - 1845

名古屋市中川区吉良町178番地の3



■あおなみ線「荒子」駅より南へ徒歩1分

11月18日(金) 緑文化小劇場 13:45 開場 14:00 上映 [定員446名]



陶芸 十三代今右衛門 薄墨の美

①陶芸 「十三代今右衛門 薄墨の美」

磁器に薄墨色の作品を生み出した人間国宝・十三代今右衛門氏の生い立ちと創作への努力を描く。(36分・1994年完成)

②漆芸 「うつわに託す—大西勲の髹漆—」

曲輪の様地作りからの工程を丹念に追い、氏の卓越したわざを映し出すと共に髹漆にかける思いを描く。(35分・2009年完成)

[問合せ] 緑文化小劇場 TEL 052 - 879 - 6006

名古屋市長区乗鞍二丁目223番地の1号



■地下鉄桜通線「徳重」駅2番出口すぐ

12月6日(火) 西文化小劇場 13:45 開場 14:00 上映 [定員346名]



狂言「狂言 野村万蔵—技とところ—」

①和紙 「細川紙の美を渡く—和紙のこころ—」

埼玉県小川町の重要無形文化財「細川紙」。江原土秋氏の技を通し、紙漉きと和紙の心を紹介する。(30分・1982年完成)

②狂言 「狂言 野村万蔵—技とところ—」

人間国宝・野村万蔵氏の舞台や稽古での姿を通して、科白劇として大成した狂言とは何かを描き出す。(50分・1999年完成)

[問合せ] 西文化小劇場 TEL 052 - 523 - 0080

名古屋市中区花の木二丁目18番23号



■地下鉄鶴舞線「浄心」下車4番出口を南へ徒歩3分

伝統文化シネマ鑑賞会 1・2・3月

人間国宝の卓越したわざ、各地域に伝承された民俗行事は、時代を超えて私たちに語りかけてきます。
優れた無形の伝統文化を記録した映画を、毎月1回、各文化小劇場にて上映しています。

1月11日(水) 中村文化小劇場 13:45 開場 14:00 上映 [定員350名]



島根「神々のふるさと—出雲神楽—」

①陶芸「土と炎と人と—清水卯一のわざ—」
土と炎の陶芸家・清水卯一氏の情熱と真摯な姿を通して、氏の独自世界を描く。(31分・1990年完成)

②島根「神々のふるさと—出雲神楽—」
陰暦の10月に八百萬の神々が集まることから、神無月を神在月と呼ぶ出雲。出雲神楽の秘密に迫る。(41分・2002年完成)

[問合せ] 中村文化小劇場 TEL 052 - 411 - 4565
名古屋市中村区中村町字茶ノ木 25 番地



■地下鉄東山線「中村公園」下車
3番出口を北へ徒歩10分

1月25日(水) 天白文化小劇場 13:45 開場 14:00 上映 [定員350名]



福岡「ふるさとからくり風土記—八女福島の燈籠人形—」

①陶芸「備前焼 伊勢崎淳の挑戦—伝統と革新のはざままで—」
「伝統は革新の連鎖である」という信念で、独自の造形への挑戦を続けます。(33分・2007年完成)

②福岡「ふるさとからくり風土記—八女福島の燈籠人形—」
九州の八女福島の人は、秋分の日が近づくと3層2階建の屋台を組み人形からくり芝居を演じます。(31分・1987年完成)

[問合せ] 天白文化小劇場 TEL 052 - 806 - 8060
名古屋市天白区原一丁目 301 番地 原ターミナルビル4階
※台風の影響で上映中止となった作品の振替上映です。



■地下鉄鶴舞線「原」下車2番出口すぐ

2月14日(火) 名東文化小劇場 13:45 開場 14:00 上映 [定員356名]



漆芸「重要無形文化財 輪島塗に生きる」

①染織「紬に生きる—宗廣力三—」
絹にウールを加えたような味わいがあるといわれる究極の絹織物“エリ蚕”をテーマに描く。(32分・1988年完成)

②漆芸「重要無形文化財 輪島塗に生きる」
輪島塗技術保存会が後世に伝えるべく懸盤一式に取り組み、完成するまでの工程が記録されている。(34分・1990年完成)

[問合せ] 名東文化小劇場 TEL 052 - 726 - 0008
名古屋市名東区上社一丁目 802 番地 上社ターミナルビル3階



■地下鉄東山線「上社」下車1番出口すぐ

3月7日(水) 熱田文化小劇場 13:45 開場 14:00 上映 [定員352名]



長野「新野の雪祭り—神々と里人たちの宴—」

①長野「新野の雪祭り—神々と里人たちの宴—」
重要無形文化財・長野県下伊那郡阿南町新野の正月祭り。神と村人の素朴な心の交流を描く。(30分・1981年完成)

②染織「彩なす首里の織物—宮平初子—」
琉球王国時代の格調高い着物であった首里織。氏が復興した、その織細で温かく美しい世界を紹介。(40分・2003年完成)

[問合せ] 熱田文化小劇場 TEL 052 - 682 - 0222
名古屋市熱田区神宮三丁目 1 番 15 号



■JR東海道本線「熱田」徒歩1分